

● 工事監理・検査の進め方研修 ●

実施期間	令和8年6月5日				
対象者	工事担当職員	定員	40人		
目的・内容	公共（土木・建築）工事の工事監理から工事検査の進め方について体系的に学び、工事監理・検査担当者として必要な基礎知識の習得及び実務遂行能力の向上を図る。				
講師（敬称略）	一般社団法人日本経営協会 講師 西本 和正（元 滋賀県大津市職員、同監査委員事務局書記（工事監査総括））				
	9:50 10:00	11:50 12:50	17:00 17:05		
6/5 （金）	オリエンテーション	はじめに 1. 工事の監督・検査とは （1）監督・検査及び成績評定の体系 （2）監督・検査業務に関する関係法令 （3）監督職員の業務 （4）検査職員の業務 2. 工事の設計・積算・契約 （1）調査・設計の基礎 （2）積算基準の概要 （3）特記仕様書の充実 （4）積算・契約の実務 （5）標準請負契約約款の確認 3. 工事の施工状況の確認・把握 （1）材料品質、施工結果の確認 （2）工程管理状況の確認 （3）施工内容の把握	昼休み	4. 工事監理のポイント （1）工事関係図書の作成・確認 （2）工事現場管理の概要 （3）建設副産物の処理 5. 工事検査と技術検査 （1）検査の種類と目的 （2）工事検査の概要 （3）技術検査の概要 6. 工事の成績評定 （1）導入経緯と考え方 （2）評定の方法 （3）評定項目と実施要領 （4）工事成績評定表のまとめ方 （5）評定結果の取扱い おわりに これからの工事監理・検査の方向性	ふりかえり（アンケート回答）